

2023年2月3日

関係各位

社会福祉法人 中心会
理事長 浦野 正男
相模原南児童ホーム
所長 曾我 幸央

相模原南児童ホームの
新型コロナウイルス感染事例について
(34)

昨2日(木)、相模原南児童ホームの実習生1名(以下、「実習生A」といいます。)が発熱し、抗原定性検査で新型コロナウイルス陽性が確認されました。

実習生Aは1日(水)から実習を開始していましたが、相模原南児童ホームではこの実習生が実習を行った児童(幼児)の生活区域に関係する職員13名、児童(幼児)11名、他の実習生1名、計25名にただちに抗原定性検査を行なったところ、あらたに1名の職員(以下、「職員B」といいます。)の陽性が確認されました。他の24名は陰性でした。

しかし、1日(水)には職員Bは実習生Aと接触した事実がなく、また、実習生Aが実習を行った区域に立ち入った事実もないことから、職員Bの感染は実習生Aを経由したものではなく、他の経路からの感染と推定され、これが偶々今回の検査で確認されたものと考えられます。

他方、職員Bには、1日(水)に他の区域で児童(乳児)5名、職員3名、計8名との接触がありましたので、これらの児童(乳児)5名、職員3名にも抗原定性検査を行ないましたが、全員が陰性でした。

以上、実習生A又は職員Bとの関係で抗原定性検査を受け、陰性が確認された計32名のうち、児童(乳児)5名を除く27名については、続けてPCR検査を行ない、昨2日(木)に全27名の陰性を確認しました。

児童(乳児)5名については検体採取が困難なためPCR検査を行なうことができませんが、3日(金)現在、健康状態の変調は見られません。

皆様には度々ご心配をおかけして申し訳なく存じますが、今後も感染防止に最善を尽くしますので、ご理解、ご協力をお願いします。